

#### 第4回中部支部地盤工学研究室学生交流会 参加報告 in 名古屋大学

大同大学 M2 清宮崇寛

9月29日、名古屋大学で行われた第4回中部支部地盤工学研究室学生交流会に参加しました。私の所属している大同大学は、第2回に続き、第4回も最下位という成績を残し、今回もこのような報告書を提出することになりました。私はもう直接的な関係は無くなりますが、来年は最下位を回避し、最下位という地獄から抜け出せられたらいいと思っています。でなければ、このまま最下位の道を歩み続けるのではないかと不安な限りです。さて、余談はこれくらいにして交流会の報告をしようと思います。

当日午前は、愛知工業大学、岐阜大学、大同大学、中部大学、名古屋大学、名古屋工業大学の計6大学が参加し、各研究室、大学の紹介を行いました。「今回の研究室紹介ではあまりハメを外し過ぎないように！」とのことでしたが、唯一大同大学だけが司会者から注意を受けるという、最下位も納得の発表を行いました。恐らく、Web上では発表資料が既に修正されているかと思いますが、参加した各大学の方々には大変ご迷惑をおかけしました。交流会に参加するのは今回が初めてでしたが、各大学の活動内容を垣間見られる機会というもの是非常に貴重で、勉強になりました。

昼食後は、一軸圧縮コンテストということで各研究室と教員チームが各々1つの一軸供試体を作成しました。この交流会に参加している学生ならば誰でも習ったことのある土質力学の知識を活用し、圧縮強度、重量やコストを審査して順位を決定するというイベントで、大同大学も勝つ為に何度も練習を行い、ルールの穴を突いたつもりで禁断の薬品にまで手を出し、強度一位を目指しました。結果は、最後の懇親会にて一軸コンテストが行われた為、後に回します。供試体作成後は、体育館に移動してスポーツ大会としてバレーボールを各研究室と教員チームで行いました。実は、このバレーボールという競技は第二回の交流会でも行われ、大同大学は最下位という結果でした。今回こそは、報告書から逃れるぞ、勝ってやるぞという気持ちで戦いましたが、初回のリーグ戦では1勝2敗で下位リーグに飛ばされ、その後の下位リーグでは、1勝1敗でした。なんとか最下位は逃れた形ですが、報告書の提出から逃れられないあたり、第二回のバレーボールの呪いが続いているのかなと思います。

スポーツ大会後は、お待ちかねの懇親会ということで、酒とつまみを片手に一軸コンテストを行いました。大同大学は、強度一位を目指す為に、地盤改良材である水ガラスという禁断の薬品を用いましたが、重量やコストが高かった割には強度が思ったように発現せず、反則をした挙句に微妙な強度を出すという、ある意味相応しい結果を残しました。他にも、強度がまったく発現せず、一体いつからピークが始まるのだろうか、と思わせるような供試体があったり、そもそも強度が計れないものもあったり、ユニークな供試体が多かったと思います。ちなみに、一軸コンテストの一位は教員チームで、 $7\text{kgf/cm}^2$  (!) を軽々超え、流石は年季の入った方々だと感心しました。

また、このような交流会で親睦を深め合えたらいいと思います。参加されたみなさん、お疲れ様でした。